



とうきょう すくわくプログラム

2024年度活動報告書

小平一橋学園雲母保育園



### テーマ【 オンラインを生かしたインタラクティブな英会話 】

#### 設定した理由・背景

英語への抵抗感を幼い頃から減らしリスニング力を育て、幼児期の吸収力の高さを生かした創造力を高められる活動を育みたい

#### 用意した環境設定

プロジェクター、スクリーン、パソコン、Webカメラ、パソコン用ワゴン

### 活動のあゆみ

1月21日～ 基本毎週火曜日

午前9時30分から4歳児

午前9時50分から3歳児

### ※探究活動の実績※

オンラインを使ってフィリピンセブ島在住の講師と直接やり取りをし、子供たちも生きた英語を見聞きした。言語だけでなくダンスや歌、お話しを取り入れた内容だったり、現地のマーケットや食べ物を動画で見せてもらったりと現地の様子を感じる機会も作った。

初めは先生に言われたことを真似るだけの姿や、ダンスや歌も戸惑いが見られ緊張しているのが伝わって来たが、回数を重ねていくにつれ、「日常であったことを伝えてみたい」「先生に折り紙制作を見せたい」と自主的に言う姿が見られた。受講内容が理解できるようになったり、流れをつかめるようになっているので、保育者の少しの助言で、講師対子供でやりとりが成立するようになってきた。



オンラインでレッスン



講師に見せる折り紙作り



講師の合図に合わせてダンス

### まとめ

保育者以外の先生と日本語ではない言語で話すことは大変難しそうというイメージを持っていたが、子供たちなりに伝えようとしたり、言葉ではなくてもジェスチャーや表情で相手に伝わるのがわかり、子供たちにとってもよい経験だと感じる。単語や意味のわかることがフェルト、もっと講師との会話が楽しくなるのだろうと思う為、受講外の所で積極的に英語を使う機会を作り、より質の良いすくわくプログラムにしていきたいと思う。



とうきょう すくわくプログラム

2024年度活動報告書

小平一橋学園雲母保育園



## テーマ【 ジャンプ力を伸ばし極める 】

### 設定した理由・背景

子供たちが跳ぶことが好きでよくしていたところに着目し、まだジャンプできない子や前や上にどうやったらジャンプできるか、子供と一緒に動きながらやって極めてみたいと感じた為。

### 用意した環境設定

バランスストーン、トランポリン、マット、グルーガン、グルースティック、人工芝、 スポンジ、おはじき、シリコンスポンジ、激落ちくん

## 活動のあゆみ

1月中旬 備品購入

2月1週目 道具準備開始

2月2週目～ 活動開始 雨の日や室内活動、夕方に時間に取り入れる

## ※探究活動の実績※

トランポリンでジャンプ力をつけていくだけでなく、足の裏を鍛えるようなセンサーマットやバランスストーンを使ったり、マットの上に様々な硬さのスポンジやおはじきなどで刺激を与える活動を行うことでジャンプ力（脚力）に力をつけていった。子供たちはこの活動が気に入ったようで集中力がよく続き、1回1時間～1時間半ほど行い続けることができた。

少し（2cm）程しか飛べなかった子がトランポリンを使うことで、より膝をまげて4～5cm程跳べるようになった。ジャンプができなかったままの子もいるが、膝を曲げる感覚がつかめたようで、もう少しで跳ぶことができそうな所まで行けた。子供たちもこの成長が嬉しいようで友達とできたことを喜び合う姿があった。保育者に褒められたりすると手を上げて喜んでいた。



様々なスポンジを使って脚力強化



ジャンプ力の計測



バランスボードを使って訓練

## まとめ

一人の子がジャンプをし、それを見たほかの子供が真似をして、と何気ない様子からここまで探求して成長していけるのだと驚きとともに、吸収力を感じることができた。次年度も活動の中で取り入れていき、体力アップ、体感、健やかな体を作る為の作るために楽しみながら取り組めるようにしていきたい。



## とうきょう すくわくプログラム

### 2024年度活動報告書

小平一橋学園雲母保育園



**テーマ【家の構造に興味を持ち、家を建てる～おともだちと泊まれるおうちをつくろう～】**

#### 設定した理由・背景

8月に経験したお泊り保育を思い出し、壊れない丈夫なおうちが作りたいとの思いから、今まで簡易で作ってすぐに壊れてしまうおうちではなく、自分たちでイメージしたおうちを皆で作あげた。

#### 用意した環境設定

板段ボール（30枚）、超強力接着テープ、ボンド、カラーポリ、ガムテープ、絵具

#### 活動のあゆみ

1月初旬 材料購入

1月17日～ クラス会議、グループ決め、設計図作り

1月20日～ おうち作りのルール決め→グループごとにおうちの制作を始める 1

1月25日 作品展

1月30日 制作したおうちで何をしたいかグループで話し合う

1月31日 おうちでやりたいことをして過ごす（給食を食べる、お昼寝をする、トランプなどのゲームをする）

2月3日 おうちは一旦解散する→また次の家づくりの構想を各々考え始める

#### ＊探究活動の実績＊

パズルマットで簡易のおうちを作り始めたことより活動が始まる。「お泊り保育で泊まったみたいなおうちが作りたいね」。その声から、まずはグループに分かれて計画を立て、設計図を作り、家の構造を想像しながら話し合う。その後板段ボールを使って実際のおうちづくりに入る。グループに分かれたことでお互いの家づくりを競いあったり助け合ったりしながら家づくりを行った。壊れないおうちにするにはどうしたらいいかを子供たちなりに話し合い、工夫する姿が見られた。工作が得意な子、絵が得意な子が自然とリーダー的な役割になり、自主的に楽しみを見つけ協力しあう姿が見られた。



グループごとでの話し合い



皆で協力しておうち作り開始



おうちの中でお昼寝やゲーム遊び

#### まとめ

お泊り保育以降おうち遊びが流行り、好きな遊びの延長線上に子供たちの成長につながる探究があるのでと題材として取り上げた。始めは話し合うことや集中力の継続が苦しいクラスでもあったので環境設定を工夫したが、次第に子供たち自身でコミュニケーションを取り合うようになり、工夫し考える力を後押しする活動になった。最後には子供たち自身から片付け方を話す姿が見られ、おうち作りだけでなく子供たちの成長に繋がった。